

## 小中連携教育モデル校事業～第1期授業参観交流について <神居小 職員会議提案文書>

平成27年6月1日

神居小コーディネーター

「小中連携教育モデル校事業」の2年目にあたる今年度も、児童生徒や指導の様子を互いを知るために、神居中と授業参観交流を中心に小・中学校の交流事業を行います。

- まずは～小中の現実を見ることで課題が見えてくる。そのため、日常の授業参観を設定し(保護者参観日や公開研、授業研等も含む)、多くの(全ての)教員がお互いの実態を知ることが先決。そのために、授業参観週間を設定するなどし、交流しやすくする。
- 授業参観をする時は、参観者は参観の視点を明確にする。「ノートのとり方」「発問の仕方」「児童生徒の様子」などの観点を意識しながら参観し、部会等で報告し方策を考える。
- 授業参観で出てきた問題(おや?と思うこと)を「課題」として認識し、方策に結び付ける。
- 上記を各部会で検討する。
- 仮説～小中の違いの現実をそれぞれの部会で明らかにすることで改善策が生まれ、それを実践することが仮説になる。

☆ H26.7.9 第1回連携委員会で確認された内容

【具体的な取組内容】 6月の第1～4週の中で、最低1回は相手校の授業を参観するようにする。

※中学校との窓口…通常学級は教務、特別支援学級は特支コーディネーター

### ◇小学校の先生が、中学校の授業参観を行う場合

- ・ 中学校の時間割を見て、参観したい日と時間を教務に伝え、教務から中学校へ連絡する。授業日の2日前までには知らせてほしい。
- ・ その際、自習体制をとるか、補欠を入れるか、学年合同の授業を実施するかなどについてはケースバイケース。1～3年生担任は、授業のない6時間目に参観するのが望ましい。
- ・ 授業参観に行く際は、名札を着用する。中学校へ行ったら、まず職員室に挨拶し、それから教室へ行く。授業後、授業者にお礼を言ったあと、そのまま職員室に寄らず小学校へ戻る。
- ・ 授業の感想等はメモをしておき、後ほど学校全体で感想等を集約する際に使う。

◎参観の視点として…『参考になったこと』『小学校との違い』『小中共通の課題』など

### ◇中学校の先生が、小学校の授業参観を行う場合 <小学校が授業参観者を受け入れる場合>

- ・ 遅くとも授業の2日前には、参観者と参観する授業を知らせてくれるので、日程が分かり次第教務から担任へ伝える。
- ・ 参観が決まった授業については、よほどのことがない限り、教科を変更しないでほしい(中学校の先生は、自分の担当教科の授業を参観するケースが多い)。
- ・ 授業者は、普段通りの授業を行い、児童の実態を見てもらう。

# 「第1期授業参観交流」感想のまとめ(神居小)

## 1 小学校の授業との違いなど、感じたこと

- 授業の進むスピードの速さ。隙間の時間における自主学習の取組。〈中1 国語〉
- 生徒の落ち着き、聞き取る力が高い点(テストの答え合わせの時間だったため、生徒の具体的な活動は見えていません)〈中1 社会〉
- 生徒が自ら、安全マットやクロスバーなどを準備していたこと。授業でも、自分達で活動を進めていたところ。〈中2 保健体育〉
- 授業中、何人かの先生が教室に入ってきた。生徒は、(教科担任制なので)何人もの先生の前で見られていることがよくわかった。
- 授業中に生徒のおしゃべりが一切なかったので、「さすが中学生」と感じた。〈中1 社会〉
- テストの答え合わせの場面で、理解が不十分と思われる生徒も解説をよく聞き、わかろうとする姿勢が全体的に見られた。〈中2 数学〉
- 生徒の興味をひく教材の準備(解剖の準備)が大変だと思った。専科ならではのことに感じた。〈中2 理科〉
- 音楽の鑑賞の授業を参観した。授業によっては、小学校では感じたことを表現することに重点が置かれるが、中学校では知識・理解の面が重要となり、内容もかなり高度で、小学校との差が大きいと感じた。〈中1 音楽〉
- 始筆・送筆などの言葉の違い。小学校では、「トン・ツー」と使うことが多い。発達段階に応じて違っていいと思う。〈中1 書写〉
- 連立方程式の計算をしていて、「係数」などの用語もきちんと使いながら説明している姿に正直驚いた。交流学級での課題に対応していかなければならないことや、その評価がその先の進路に続いていくことなどを考えると、より大変だと感じた。〈中2 数学 青空(個別指導)〉
- 数学のノートの幅がせまいにもかかわらず、どの子もしっかり書いていてびっくりした。「個人 → ペアで確認をさせ、挙手 → 全員ができたかどうかの確認」の流れができていた。が、早く終わった生徒への対応が難しいと感じた。〈中1 数学〉

## 2 授業に生かしていきたいこと

- 板書の工夫(下位の子にもポイントをつかめるような穴埋め提示の板書)。〈中1 国語〉
- 走り高跳びの学習で、友達を応援する雰囲気づくり。記録等、自分達で進めていくルールづくり。〈中3 保健体育〉
- 学習規律、集中して取り組む姿勢(プリント学習でした)。〈中1 数学〉
- 教師の指示・説明の端的さ。指示の徹底。学習の雰囲気づくり。〈中1 社会〉
- (ユーモアを交えながら)理解に時間がかかる生徒に対する、言葉かけなどの温かさ。学習指導・生徒指導両面からの、生徒への意欲付けが勉強になった。〈中2 社会〉
- 中学校の先生の専門性が高く、余談などもおもしろかった。〈中2 理科〉
- 発問や助言の仕方は端的にすること。自己評価や相互評価を取り入れること。〈中1 道徳〉
- 小学生でも、静かに落ち着いて学習できるように、日々指導の徹底や確認をしていきたい。
- 児童の実態に合った教材の工夫。
- 小中学校お互いの授業を見合って、子どもにとってなめらかなつながりを考えることが大切だと思う。
- 筆をねかせない、書く時の姿勢など、小学生のうちにきちんと身に付けさせておかないといけないなと感じた。〈中1 書写〉
- 生徒の学習活動を一つ一つ確認しながらの丁寧な授業の進め方。〈中2 数学 青空(個別指導)〉

### 3 その他、授業を見て感じたこと

- 6年生の時に関わった子の成長ぶりが見られて嬉しかった。〈中1 国語〉
- 学習事項や指導内容は違えど、教師の指示や説明、見取りなど、指導の技術は小・中学校ともに通じるものがあると感じた。そういった点において大変勉強になり、自身の学級経営にも生かしていきたい。〈中1 社会〉
- 中1の生徒も細い罫線のノートにきちんと書いていた。小学校は6年生でも1cm幅のノートに書いているため、違いに戸惑うかと思ったが、すぐに対応できそうだと感じ安心した。
- 授業に、明るい落ち着いた雰囲気を感じた。
- ノートの書き方が丁寧だった。成長した姿を見ることができた。〈中1 国語・数学〉
- 和気あいあいとして、楽しく和やかな雰囲気だった。子どもの意欲・関心を高めるには、そのような雰囲気の中で授業を行うことも必要だと感じた。〈中1 道徳〉
- 和気あいあいとした雰囲気の中にも厳しさがあがり、ここはしっかりと理解させたいというポイントが分かる授業だったと思った。〈中2 数学・理科〉
- 予想を立てたり、考えを発言させたりと、小学校の問題解決的な学習に近い授業展開だったので、生徒も受け身ではなく意欲的に学習できていたと思う。〈中1 音楽〉
- 小4の「地」と中1の「天地」を同時期に学習していて、「地」が同じなので驚いた。〈中1 書写〉
- 一対一で落ち着いた雰囲気での授業が行われていた。生徒の間違えやすいところを事前に把握して、丁寧に指導していた。生徒も意欲的に取り組んでいた。〈中2 数学 青空(個別指導)〉
- 個に合わせて課題を与え、繰り返し練習をしている姿が印象的だった。気持ちが沈んだ生徒に対しても、周りの生徒に優しく話しかけながら回復を待っている様子も参考になった。  
〈英語 青空学級〉

## 「第2期授業参観交流」感想のまとめ(神居小)

### 1 小学校の授業との違いなど、感じたこと

- 一人学習、個人思考の時間が十分に取られているなど感じた。また、文中3ヶ所の「思いや気持ち」を1時間で書き上げるほど、学習内容の量が多いことを痛感した。緊張感のある授業だった。〈中1 国語〉
- 授業中の指示がほとんど英語で行われていたが、生徒たちは、しっかりと聞き取って楽しく学ぶことができていた。小学校の英語活動は担任が授業をするため、中学校の先生のような専門性はなく、大変苦労している。〈中2 英語〉
- 一人で問題を解く時間(個人思考)が長く、低位の子にとって厳しいものがあるなど感じた。先生が説明する時間が結構あったので、聞き逃さないようしっかり聞く集中力が必要だと感じた。〈中3 数学〉
- 教師が机間指導する時の生徒の構え(分からない子はノートに書き込みながら考える、分かった子は近くの子に解説する 他)。〈中2 数学〉
- 授業の進み具合が早く、「著しい」など難しい言葉がたくさん出てきた。どの子も字が上手になって、きれいにノートを作っていた。〈中1 社会〉

## 2 授業に生かしていきたいこと

- 短時間で考え、長い文を書くなど表現力(書く力)を身に付ける。ノートの書き方(きれいな字で見やすく書くなど)。指示された内容を十分理解する力を身に付ける。大きな声で発表する。〈中1 国語〉
- 練習問題の答え合わせの仕方をゲーム風に工夫していて、生徒たちも楽しみながら授業に集中していた。単調になりやすい活動を工夫することが大切ということを感じた。〈中2 英語〉
- 社会科で地図帳を開いて地名を探す活動を行っていたが、小学校でも都道府県名と位置について、4～6年生でしっかり覚えさせなければいけないと感じた。〈中2 社会〉
- 相似比を使って校舎の高さを求める場面だったが、日常生活に生きるような問題でとても工夫されていた。スモールステップで問題が解決できるようになっていた点も工夫が見られた。〈中3 数学〉
- 生徒に立式の説明をさせる時間を十分にとっていたこと。机間指導の中で、できていない子にしっかりと説明していたこと。〈中1 数学〉
- テンポが良く、生徒が興味をもって話を聞いていた。生徒を集中させる話し方をされていて、小学校の授業でも気を付けたいと思った。〈中1 社会・英語〉

## 3 その他、授業を見て感じたこと

- 生徒の家庭学習時間が順位付きで掲示されていた。小学生の頃から、しっかりと家庭学習の習慣を身に付けなくてはいけないと思った。〈中1〉
- 廊下や教室で礼儀正しく挨拶され、落ち着いた生活が送られていると感じた。〈中2〉
- 算数の問題を解く場面で、解き方が分からない子が隣の子に「ここ教えて」と小声で伝え、言われた子は、周りを気遣いながらひそひそ声で分かりやすく教えていた。落ち着いた雰囲気の中、協力し合いながら問題に取り組む姿が印象的だった。〈中2 算数〉
- 一次関数のグラフの学習を参観した。小学校6年生の学習と重なるところが多く、考え方、分数の計算など、基礎をとことん身に付けて送り出す必要性を改めて感じた。また、先生と生徒のやりとりに温かみがあり、参観していて居心地がよかった。〈中2 算数〉
- 1問に十分時間をかけて考えさせていると思った。ITを含め3人の教師が教室の中にいたので、指導が行き届いていると感じた。〈中1 算数〉
- 子どもたちが小学校の頃と変わらず楽しそうに授業を受けている姿を見て、うれしくなった。子どもたちの良い所をそのまま伸ばしていただいているのだと思った。〈中1 社会・英語〉
- 学習プリントが実生活と直結していて現実的だった。また、学習が進むにつれて条件が増え、「え～」と子どもが悲鳴を上げる姿がすてきだった。また、学習に向かえない生徒にも毅然とした態度で応じる先生の姿を見て、見習わなければと思った。〈青空学級〉

## 授業参観交流の感想

〈神居中学校〉

### 1 中学校の授業との違いなど、感じたこと

- ・(チャレンジ学級)一人一人のペースに合わせた授業。
- ・(チャレンジ学級)個別指導の設定の仕方。
- ・(チャレンジ学級)見通しの持たせ方や授業構成。
- ・一人一人ていねいにノートを見て、できているかチェックしている。

- ・机間巡視が少ないかなあ。児童が先生のいるところに見せに行く方が多い。
- ・専門教科と関係なく授業に取り組んでいる点。
- ・実験の説明がとても丁寧。
- ・教室の教科に関する掲示物が「さすが!!」という印象。
- ・中学校の理科では、平仮名を使って表す臓器の名称を漢字で板書していたことに感動しました。

## 2 授業に生かしていきたいこと

- ・(チャレンジ学級)寛大さとの確かな言葉がけ。
- ・急にチャレンジ学級で学習することになった児童にも即対応できるように学習プリントや資料、教材が教室に置かれていること。
- ・児童の言動をしっかりと受け止めた上での指導。(子どもの特性や障害の程度が理解されている。)
- ・一人一人のノートチェック。(時間がない中ですが…)
- ・基礎の復習・定着。
- ・説明の丁寧さ。教室の掲示物。

## 3 その他

- ・自分の唯一空いている時間帯に参観させてもらいましたが、専門外の教科だったと思うので、小学校の先生も困ったと思います。
- ・6年生の6・7月の学習内容と、中2の1学期の学習内容がリンクすることがわかった。系統性を持たせられたら良いと感じた。
- ・中2で行う解剖学習の様子を小学校に伝えたり、紹介したりするなど、チャレンジしてみても良いと思いました。
- ・授業の空きがなく、とてもとても行ける状態ではありませんでした。
- ・(チャレンジ学級)スペースの使い方。一人での学習、複数での学習などに合わせて間仕切りがされていて、工夫されている。
- ・自閉症・情緒障害学級の生徒増を考えると中学校もスペースの使い方に工夫が必要かも知れない。
- ・運動することの楽しさを実感しつつ、運動量も確保された授業を目指してほしいです。
- ・低学年から中学年の間は、体全体を大きく使ったり、ボールや物など用具を使った運動をたくさんしてほしいです。
- ・6年生の授業を参観させていただきました。昨年に引き続いての参観でしたが、子どもたちのよいところは的確にほめて良さを伸ばすとともに、弱点や課題は声かけを工夫する中で子どもたちに意識化させるなどし、立派に成長している姿を見せていただきました。ありがとうございました。